



# 経済を読み解く力が身につく 経済学科カリキュラム

多彩な科目の「講義」を揃え、少人数で行なう「演習」も全学年にあります。

目的意識を持って勉強することで自分を高め、社会に貢献できる力が身につきます。

## 経済学科の理念・目的

キリスト教精神と幅広い教養教育を基礎に、経済学の専門的知識を修得し、時代に流されず、先を見通す経済社会の理論とスキルを身に付け、多方面において社会に貢献できる人材を養成する。

## 経済学科の到達目標

1. 国内外の経済状況を理解し、説明できる
2. 経済モデルを用いて経済状況および特徴を説明できる
3. 統計データを活用して経済状況を分析できる
4. 今日の経済の動きを歴史的背景から理解する
5. 東北地域の経済状況および特徴を説明できる
6. 今日の経済が直面している問題が何かを見出し、改善策を考えることができる
7. 経済社会についての思想や理論の概要を理解する
8. 経済学の論理的思考を活かし、自分の意見をわかりやすく伝えられる

## 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- 本学は、次の方針に基づき学士の学位を授与する。学生は、各学部学科における卒業所要単位の修得を中心とする学修活動により、これらの方針にそった学修成果をあげることが期待される。
- A. よく生きようとする態度をもつこと
  - B. 知的活動に必要な汎用的諸技能を身に付けること
  - C. 課題を発見し、その解決のために学修成果を活用できること
  - D. ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる考え方を理解できること
  - E. 専攻分野の専門的知識とそれまでに得た学修成果を総合的に活用できること

		1年次	2年次	3年次	4年次		
専門教育科目	第1類	コア (基礎科目)	③ 経済数学 I・II ② マクロ経済学入門 I・II ① 統計学入門 I・II 日本経済入門 資本主義経済入門 I・II 経済データ入門 I・II	資本主義経済理論 I・II 経済統計学 経済学史 ミクロ経済学 I・II 計量経済学 経済思想史			
	第2類	総合演習	① 総合演習				
		演習		演習 I	演習 II	演習 III	
		理論			ゲーム理論 I・II 行動経済学 I・II 経済動学理論 I・II	開発経済学 I・II 金融論 I・II 金融システム論 国際経済学 I・II 経済学特殊講義 I	
		産業・政策			応用計量分析 I・II 産業組織論 I・II 労働経済学 I・II	④ 財政学 I・II 財政システム論 財政政策論 公共経済論 公共選択論 地方財政論 経済政策論 I・II 都市経済学 I・II 環境経済学 I・II	
		社会経済			政治経済論 I・II 情報経済論 I・II 日本経済史 I・II ⑤ 西洋経済史 I・II	経済立地論 東北経済論 東北開発論 経済学特殊講義 II 地域経済論 農業経済論 I・II	
	第4類	卒業研究・卒業試験				卒業研究 卒業試験	
第5類	英語による経済学		外国書講読 I・II Business and Financial English I・II Seminar A	Seminar B Seminar C			
第6類	資格講座		ファイナンシャル・プランナー講座 I・II キャリア形成論	ファイナンシャル・プランナー講座 III・IV 公務員試験経済学講座 I・II			
第7類	情報・通信基礎工学		アルゴリズム論	海外研究 I・II 簿記学 I・II 人工知能 データサイエンス	民法 I・II 会社法 I・II 経営学総論 I・II		
教養教育科目	T G ベーシック	人間的基礎	聖書を学ぶ キリスト教の歴史と思想	よき社会生活のためにA(法律) よき社会生活のためにB(福祉) よき社会生活のためにC(健康)	共生社会と倫理 科学技術社会と倫理	キリスト教学 A(キリスト教と倫理) キリスト教学 B(キリスト教と宗教)	キリスト教学 C(キリスト教と文化) キリスト教学 D(キリスト教と現代社会)
		知的基礎	リーディング&ライティング クリティカル・シンキング	統計的思考の基礎 科学的思考の基礎			
		課題探究	キャリア形成の探究 地域ボランティア活動の探究	課題探究演習	データ活用による探究 地域課題の探究	東北学院史の探究	
	学科教養科目	人文系	哲学 文化の歴史 倫理学 歴史学 言語論 芸術論 音楽 文学 文化人類学				
	社会系	心理学 経営学 日本国憲法 地理学 ジェンダー論 社会学 法学 現代の政治 社会福祉論 東北地域論					
	自然系	数理の科学 生命の科学 自然の科学 AI 社会の基礎 記号論理学 環境の科学 先端科学と技術					
外国語科目	第1類	英語 I A・B	英語 II A・B				
	第2類	ドイツ語 I A・B フランス語 I A・B 中国語 I A・B 韓国・朝鮮語 I A・B	ドイツ語 II A・B フランス語 II A・B 中国語 II A・B 韓国・朝鮮語 II A・B	ドイツ語コミュニケーション A・B フランス語コミュニケーション A・B 中国語コミュニケーション A・B 韓国・朝鮮語コミュニケーション A・B	ドイツ語 III A・B フランス語 III A・B 中国語 III A・B 韓国・朝鮮語 III A・B		
	第3類	ベーシック英語 英語コミュニケーション			英語 III A・B		

なお、カリキュラムには多少の変更が生じ得ます

## 授業① 総合演習

総合演習は、1年生の総合的な導入科目です。「経済学とは何か」、「大学においてどのように勉強したら良いのか」について考え、また学内の施設の有効な活用方法などを教えます。この科目では、現代のグローバルな経済社会における課題、経済と関連するさまざまなテーマを取り上げて、共に考え、討論します。また、新聞や本を読み、自ら研究テーマを発見し、それをレポートにまとめて発表します。担当教員がレポートや発表を添削し、改善点をコメントすることで、リサーチリテラシーを高める科目です。



## 授業② マクロ経済学入門

「マクロ経済学」とは、一国の経済状況の変化を探り、世の中が安定かつ成長するような経済政策のあり方を考える分野です。「マクロ経済学入門」では、皆さんがニュース等で見聞きしている「GDP」、「物価」、「失業率」といった言葉の正確な定義を学習し、それらの学びを踏まえ、現実に行われている経済政策が「GDP」、「物価」、「失業率」に与える影響について論理的に考える基礎的な力を養います。

## 授業④ 財政学

財政とは政府が資金を調達し、支出する活動のことです。国や地方公共団体は治安維持、子育て支援、教育、医療、年金等の様々な公的サービスを提供し、そのための資金を主に税金で集めます。本講義では、財政の現状や課題を理論と実際の両面から学びます。財政は経済、政治、社会と深く関連し、そのすがたは国によって様々です。本講義では国際比較の視点も交えて学び、日本財政に対する理解を深めます。

## 授業③ 経済数学

経済数学は1年次のコア科目です。この講義では経済学で使用する数学の基礎について、高校レベルの数学の復習からはじまり、最終的にはミクロ経済学やマクロ経済学、その他応用分野で使用する数学の基礎や理論モデルを用いた解析方法の修得を目標としています。数学が経済学の分析でどのように使用されるかについて具体例をもちいて説明することで、2年次以降の専門科目につながるような講義をしています。

## 授業⑤ 西洋経済史

日本の地図をヨーロッパの地図に重ねてみると、「ヨーロッパ大陸」は意外に狭いことがわかります。しかし、ここには先進国がひしめき合っており、最近ではGDPや貿易額において一國で日本を上回る国も出てきています。西洋経済史では、かつて「世界の工場」、あるいは「世界の銀行」と称されたイギリスに焦点を当てて、近代以降のヨーロッパ経済の歴史について学習していきます。

詳しくは大学要覧(Syllabus)を参照してください。

<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/syllabus/>

